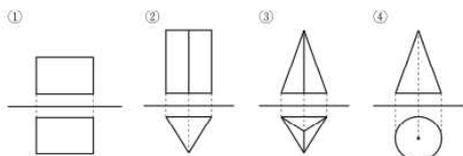
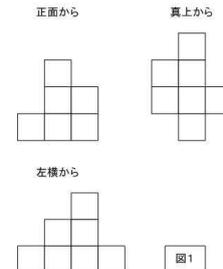


- 1 日時 平成29年 1月26日(木) 第3時間目
- 2 学級 9組
- 3 題材(単元) 立体のいろいろな見方(投影図)
- 4 本時の授業

(1) 目標

- ・立体を平面に表す1つの方法として投影図があることを理解し、投影図をかいたり、投影図からその立体を考えたりすることができる。

(2) 流れ

生徒の学習活動と主な意識の流れ	支援(◇)と見取りの姿(◎)
<p>① 本時の課題と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 投影図からどんな立体か考えよう </div> <p>② 基礎の課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問題. 下の①～④の投影図について、次の問いに答えなさい。</p>  <p>(1) 三角錐の投影図はどれですか。1つ選んで、その番号で答えなさい。</p> <p>(2) 多くの立体は置き方によって、異なる投影図で表されます。投影図が①のように表される可能性がある立体を、次の㉗～㉚の中からすべて選んで、その記号で答えなさい。</p> <p>㉗ 四角柱 ㉘ 四角錐 ㉙ 円柱 ㉚ 円錐 ㉛ 球</p> </div> <p>③ ジャンプの課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>図1は1辺2cmの立方体を何個か積み上げた立体を正面、真上、左横から見た図である。</p>  <p>積み上げられた立方体は何個ありますか。</p> </div> <p>④ まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立体を平面に表す1つの方法として投影図がある。 ・見る方向によって投影図は変わる。 	<p>◇平面図と立面図を混同していないか確認する。</p> <p>◎投影図で表された立体の名称を答えることができるか。</p> <p>◇立面図と平面図だけでは立体が特定できない場合は、側面図を付け加えることがあることを助言する。</p> <p>◇立方体を多数用意し、実際に操作することで、平面→立体につなげやすくする。</p> <p>◎操作的活動を通して立体を考えようとしているか。</p>

(3) 「学び合い」をどこでどう生かし深めていくか

- ・基本的に教師との1対1の授業となる。
- 小学校から欠席しがちで積み上がっていないところも多いため、操作的活動やICT機器を取り入れることにより、興味関心を持って取り組み、自分で考えたことから理解を深めさせたい。